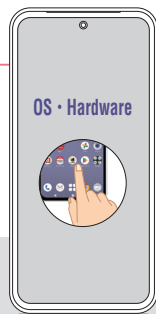


SH-53Eの基本操作を覚える

SH-53Eのディスプレイはタッチパネルです。指でディスプレイをタッチすることで、いろいろな操作が行えます。また、本体下部のナビゲーションバーにあるキーの使い方も覚えましょう。



ナビゲーションバーのボタンの操作



戻るボタン ホームボタン 履歴ボタン

MEMO ナビゲーションバーのボタンとメニューボタン

本体下部のナビゲーションバーには、3つのボタンがあります。ボタンは、基本的にすべてのアプリで共通する操作が行えます。また、一部の画面ではナビゲーションバーの右側か画面右上にメニューボタンが表示されます。メニューボタンをタッチすると、アプリごとに固有のメニューが表示されます。



ナビゲーションバーのボタンとそのおもな機能	
戻るボタン / 閉じるボタン	1つ前の画面に戻ります。
ホームボタン	ホーム画面が表示されます。一番左のホーム画面以外を表示している場合は、一番左の画面に戻ります。ロングタッチでGoogleアシスタント (Sec.33参照) が起動します。
アプリ使用履歴ボタン	最近使用したアプリが表示されます (P.21参照)。

タッチパネルの操作

タッチ

タッチパネルに軽く触れてすぐに指を離すことを「タッチ」といいます。



ロングタッチ

アイコンやメニューなどに長く触れた状態を保つことを「ロングタッチ」といいます。



ピンチアウト/ピンチイン

2本の指をタッチパネルに触れたまま指を開くことを「ピンチアウト」、閉じることを「ピンチイン」といいます。



スライド (スワイプ)

画面内に表示しきれない場合など、タッチパネルに軽く触れたまま特定の方向へなぞることを「スライド」または「スワイプ」といいます。



フリック

タッチパネル上を指ではらうように操作することを「フリック」といいます。



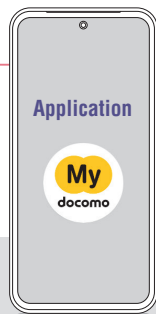
ドラッグ

アイコンやバーに触れたまま、特定の位置までなぞって指を離すことを「ドラッグ」といいます。



ドコモのIDとパスワードを設定する

SH-53Eにdアカウントを設定すると、NTTドコモが提供するさまざまなサービスをインターネット経由で利用できます。また、spモードパスワードも初期値から変更しておきましょう。



1 dアカウントとは

「dアカウント」とは、NTTドコモが提供しているさまざまなサービスを利用するためのIDです。dアカウントを作成し、SH-53Eに設定することで、Wi-Fi経由で「dマーケット」などのドコモの各種サービスを利用できるようになります。

なお、ドコモのサービスを利用しようとする、いくつかのパスワードを求められる場合があります。このうちspモードパスワードは「お客様サポート」(My docomo)で確認・再発行できますが、「ネットワーク暗証番号」はインターネット上で確認・再発行できません。契約書類を紛失しないように注意しましょう。さらに、spモードパスワードを初期値(0000)のまま使っていると、変更をうながす画面が表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従ってパスワードを変更しましょう。

なお、ドコモショップなどですでに設定を行っている場合、ここでの設定は必要ありません。

ドコモのサービスで利用するID / パスワード	
ネットワーク暗証番号	お客様サポート(My docomo)や、各種電話サービスを利用する際に必要です。
dアカウント / パスワード	Wi-Fi接続時やパソコンのWebブラウザ経由で、ドコモのサービスを利用する際に必要です。
spモードパスワード	ドコモメールの設定、spモードサイトの登録 / 解除の際に必要です。初期値は「0000」ですが、変更が必要です。

MEMO dアカウントとパスワードはWi-Fi経由でドコモのサービスを使うときに必要

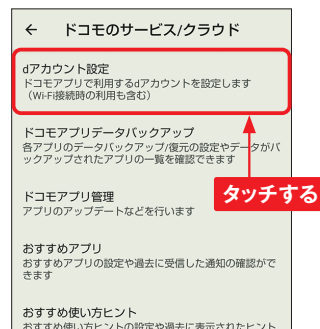
5Gや4G(LTE)回線を利用しているときは不要ですが、Wi-Fi経由でドコモのサービスを利用する際は、dアカウントとパスワードを入力する必要があります。

dアカウントを設定する

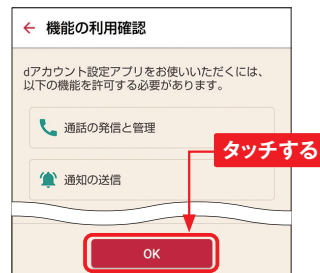
- 1 「設定」アプリを開いて、「ドコモのサービス/クラウド」をタッチします。



- 2 「dアカウント設定」をタッチします。



- 3 「機能の利用確認」画面が表示された場合は「OK」をタッチします。



- 4 「ご利用にあたって」画面が表示された場合は、内容を確認して、「同意する」をタッチします。続いて、「かんたん自動ログイン!」画面が表示された場合は「確認」をタッチします。



- 5 「dアカウント設定」画面が表示されるので、「次」をタッチして進みます。「ご利用中のdアカウントを設定」をタッチします。



ドコモ電話帳に新規連絡先を登録する

- ① P.52手順①～②を参考にドコモ電話帳を開き、**+**をタッチします。



- ② 連絡先を保存するアカウントを選択します。ここでは [docomo] を選択します。



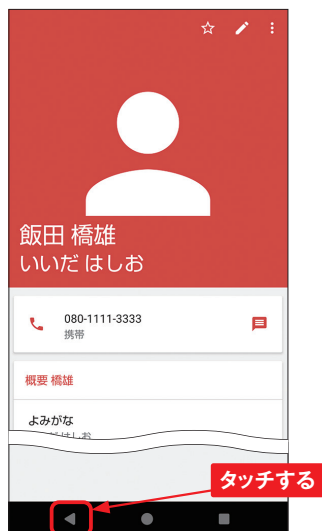
- ③ 入力欄をタッチしてソフトウェアキーボードを表示し、「姓」と「名」の入力欄へ連絡先の情報を入力して**→**をタッチします。



- ④ 姓名のふりがな、電話番号、メールアドレスなどを入力します。完了したら [保存] をタッチします。



- ⑤ 連絡先の情報が保存されます。**←**をタッチして、手順①の画面に戻ります。



ドコモ電話帳に通話履歴から登録する

- ① P.46を参考に「履歴」画面を表示します。連絡先に登録したい電話番号をタッチします。



- ② [連絡先に追加] をタッチします。



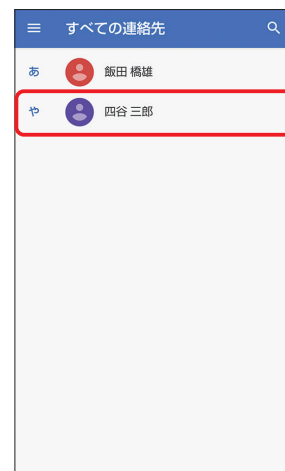
- ③ [新しい連絡先を作成] をタッチします。



- ④ P.54手順③～④を参考に連絡先の情報を登録します。

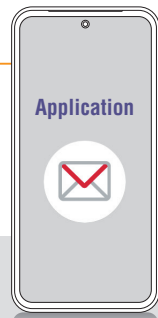


- ⑤ ドコモ電話帳のほか、通話履歴、連絡先にも登録した名前が表示されるようになります。



ドコモメールを利用する

P.78 ~ 79で変更したメールアドレスで、ドコモメールを使ってみましょう。ほかの携帯電話とほとんど同じ感覚で、メールの閲覧や返信、新規作成が行えます。



ドコモメールを新規作成する

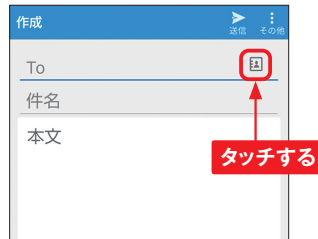
1 ホーム画面でメールアイコンをタッチします。



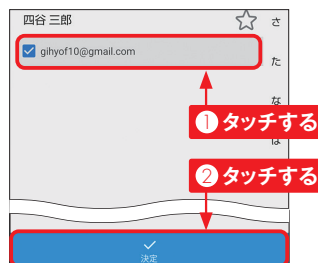
2 「フォルダー一覧」画面左下の「新規」をタッチします。「フォルダー一覧」画面が表示されていないときは、メニューアイコンを何度かタッチします。



3 新規メールの「作成」画面が表示されるので、「国」をタッチします。「To」欄に直接メールアドレスを入力することもできます。



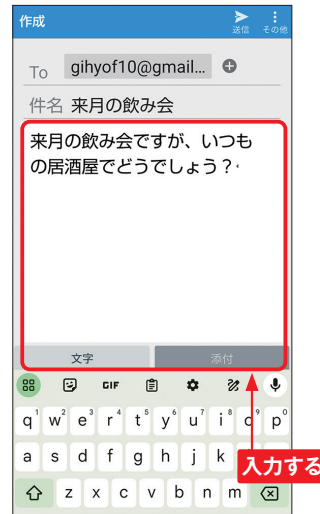
4 電話帳に登録した連絡先のメールアドレスが名前順に表示されるので、送信したい宛先をタッチしてチェックを付け、「決定」をタッチします。履歴から宛先を選ぶこともできます。



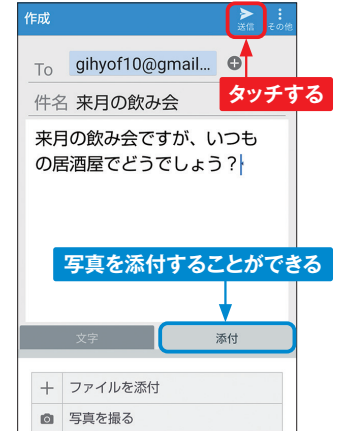
5 メール「作成」画面が表示されるので、「件名」欄をタッチしてタイトルを入力します。「本文」欄をタッチします。



6 メール本文を入力します。



7 「送信」をタッチすると、メールを送信できます。なお、「添付」をタッチすると、写真などのファイルを送付できます。



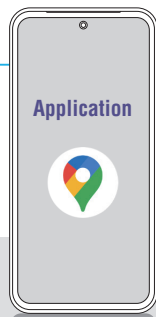
MEMO 文字サイズの変更

ドコモメールでは、メール本文や一覧表示時の文字サイズを変更することができます。P.82手順②で画面右下の「その他」をタッチし、[メール設定] → [表示カスタマイズ] → [文字サイズ設定] の順にタッチし、好みの文字サイズをタッチします。



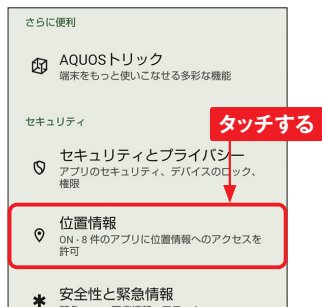
Googleマップを 使いこなす

Googleマップを利用すれば、自分の今いる場所や、現在地から目的地までの道順を地図上に表示できます。なお、Googleマップのバージョンによっては、本書と表示内容が異なる場合があります。

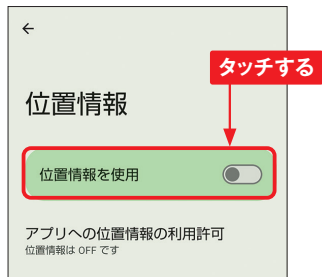


「マップ」アプリを利用する準備を行う

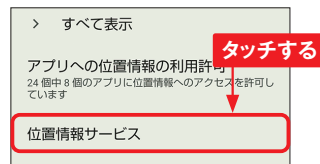
- ① P.20を参考に「設定」アプリを起動して、[位置情報] をタッチします。



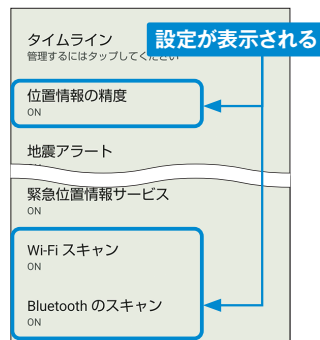
- ② [位置情報を使用] がオフの場合はタッチします。位置情報についての同意画面が表示されたら、[同意する] をタッチします。



- ③ オンに切り替わったら、[位置情報サービス] をタッチします。



- ④ 「位置情報の精度」「Wi-Fiスキャン」「Bluetoothのスキャン」の設定がONになっていると位置情報の精度が高まります。その分バッテリーを消費するので、タッチして設定を変更することもできます。



現在地を表示する

- ① ホーム画面で [Google] → [マップ] とタッチします。



- ② 「マップ」アプリが起動します。○をタッチします。



- ③ 初回はアクセス許可の画面が表示されるので、[正確] をタッチし、[アプリの使用時のみ] をタッチします。

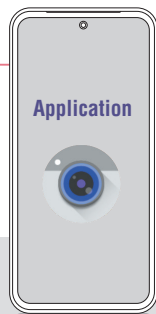


- ④ 現在地が表示されます。地図の拡大はピンチアウト、縮小はピンチインで行います。スクロールすると表示位置を移動できます。



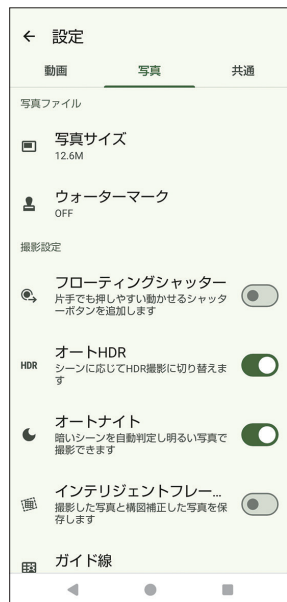
カメラの撮影機能を 活用する

SH-53Eのカメラには、背景をぼかして撮影するポートレートモードや撮影した被写体やテキストを調べる機能などがあります。カメラの機能を活用すると、撮影をより楽しむことができます。



5 カメラの「設定」画面を表示する

① カメラの をタッチすると、写真の設定画面が表示されます。



【写真】をタッチすると、写真サイズやオートHDRのオン/オフ、ガイド線の種類などを設定できます。

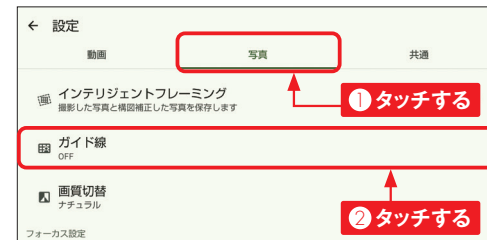
② [動画] や [共通] をタッチして、それぞれの設定画面に切り替えることができます。



【共通】ではフラッシュや位置情報、カメラに手のひらを向けるとタイマー撮影ができる「手のひらで撮影」などの設定ができます。

ガイド線を利用する

① P.128を参考にカメラの「設定」画面を表示して、[写真] → [ガイド線] をタッチします。



② 被写体に合わせて、ガイド線を選んでタッチします。「設定」画面に戻るのので、左上の←をタッチします。



③ カメラの画面に戻ると、画面上にガイド線が表示されます。ガイド線を参考に構図を決めて、 をタッチします。

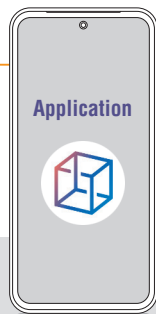


④ ガイド線はカメラの画面に表示されるだけで、撮影された写真には写りません。



スクリーンショットを撮る

「Clip Now」を利用すると、画面をスクリーンショットで撮影（キャプチャ）して、そのまま画像として保存できます。画面の縁をなぞるだけでよいので、手軽にスクリーンショットが撮れます。



Clip Nowをオンにする

- ① ホーム画面を左方向に1回フリックし、[AQUOSTリック] をタッチします。



- ② 「AQUOSTリック」画面で [Clip Now] をタッチします。説明が表示されたら [閉じる] をタッチします。



- ③ [Clip Now] をタッチしてオンにします。アクセス許可に関する画面が表示されたら、[次へ] や [許可] をタッチします。



MEMO キーを押してスクリーンショットを撮る

音量キーの下側と電源キーを同時に1秒以上長押しして、画面のスクリーンショットを撮ることもできます。スクリーンショットは、SH-53E内の「Pictures」-「Screenshots」フォルダに画像ファイルとして保存され、「フォト」アプリなどで見ることができます。

スクリーンショットを撮る

- ① 画面の上端をロングタッチします。



- ② 指を離すと、スクリーンショットが撮影できます。



- ③ 画面下方にキャプチャした画像のサムネイルが表示されます。[編集] をタッチします。「フォトで編集」の確認画面が表示されるので、ここでは [1回のみ] をタッチします。



- ④ 「フォト」アプリで画像が表示されます。その後も、通常の写真と同様に「フォト」アプリで見ることができます。

